

# KIITO: +CREATIVE SEMINAR

## +クリエイティブゼミ vol.12 まちづくり編

受講生  
募集!

### ○「+クリエイティブゼミ」とは？

社会的な課題に対して「+クリエイティブ」なアプローチで解決する考え方や手法を、小グループのディスカッションを行いゼミ形式で学べるプログラム。課題解決への方策を導き出すプロセスを通じて「+クリエイティブ」を実践する場を提供します。

### ○ 申込方法

ウェブサイト (<http://kiito.jp/>) からお申込ください。  
※申し込みは11月14日(金) 15:00から開始します。  
※定員がございますので、キャンセルのないようお願い致します。  
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)  
E-MAIL: school@kiito.jp TEL: 078-325-2235 FAX: 078-325-2230

## これからの公園のあり方について考える。 ～高齢化するニュータウンにおける公園を事例にして～

### → 講師



永田宏和 (副センター長)  
株式会社 iop 都市文化創造研究所  
代表取締役  
NPO 法人プラス・アーツ理事長

→ 期 間：2014年11月-2015年2月  
19:15-21:15

参加費：無料

定 員：30名程度 (要申込、先着順)

場 所：デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)  
(神戸市中央区小野浜町1-4)

協力：神戸市建設局公園砂防部計画課  
神戸芸術工科大学長濱研究室

### → スケジュール ○全9回予定 各回聴講可能 事前にお問合せください

第1回	11/25 (火)	課題発表
第2回	12/2 (火)	ゲストレクチャー：長濱伸貴
第3回	12/9 (火)	レクチャー：永田宏和
第4回	12/16 (火)	グループミーティング
第5回	12/22 (月)	グループミーティング
第6回	2015 1/13 (火)	中間発表会
第7回	1/20 (火)	グループミーティング
第8回	1/27 (火)	グループミーティング
第9回	2/3 (火)	最終発表会

今回開講する「+クリエイティブゼミ」vol.12 まちづくり編では、まちに欠かせない「公園」の新しいあり方について考えてみたいと思います。

少子高齢化社会が加速度的に進む現代にあっても、まちの公園には依然として「すべり台」や「鉄棒」などのお決まりの遊具が並んでいて、週末など一定の時間を除き、そこに子どもたちの姿を見かけることはとても少なくなったように思います。

海外の公園に行くと、欧米でも東南アジアでも、地域の高齢者たちが、スポーツジムに置いてあるような運動器具に汗を流したり、ベンチをうまく活用して、自分の家のダイニングルームのように仲間たちと談笑しながら食事をしている姿などをよく見かけます。

日本では、子どもたちのいない平日の昼間にはゲートボールやグラウンドゴルフ、朝早くにはウォーキングにラジオ体操、太極拳といった、健康促進のための活動に取り組む高齢者の集まりを多く見かけますが、上記の海外の事例のように、公園を使いこなしている様子を見かけることは、まだまだ少ないように思います。

昨年(2013年1~3月)、私たちは高尾台という高齢化するニュータウ

ン＝「オールドタウン」のこれからのについて考える、というゼミを開講しました。その際私たちが学んだのは、高尾台を「オールドタウン」と机上の空論で一括りにせず、そこに暮らす人々と共にまちの将来を考え、そのまちに合ったアクションプランを企画・実行することの重要性でした。今回のゼミでは、神戸市内の特定の公園を対象地として設定し、リサーチには「公園」の計画づくりを行っている神戸市建設局公園砂防部計画課に協力を仰ぎ、具体的なデータに基づいたアクションプランを考えます。

さらに、公園の計画やデザインのスペシャリストである長濱伸貴氏(ランドスケープデザイナー・神戸芸術工科大学准教授)をゲスト講師に招聘し、国内外の公園事情をお聞かせします。また、デザインセンター AXIS、デザイン集団 IDEO、takram の3つの組織と連携して「東京ゼミ」も開講予定で、神戸、東京双方から新しい公園のあり方についての探求を深めます。

これまで同様、ゼミで生まれたアクションプランに関してはその実現をめざしつつ、たくさんの知恵とアイデアを結集して、豊かな「公園」の像を紡いでみたいと思っていますので、関心のある方はぜひご参加ください。

<http://kiito.jp>